

社会福祉法人 太田福祉記念会 令和5年度事業計画

誓いの言葉

- 一、私たちは、利用者の人権を尊び、安らぎと生きがいづくりに努めます。
- 一、私たちは、地域福祉の向上を目指し、保健・医療・福祉の連携をすすめます。
- 一、私たちは、常に専門職として、愛の心と技術の向上に努めます。

令和5年度事業計画の概要

理念「誓いの言葉」の実現に向け、組織一丸となり経営に取り組む基本的な考え方を「戦略的重点項目の三本の柱」により事業を展開する。

1. 職員の育成による質の高い介護サービスの提供
2. 地域福祉からのまちづくり参画
3. 計画的財務管理による健全経営の維持

「1」について、利用者の信頼に応える質の高い介護サービスを提供し続けるために、情報を共有する活力のある組織づくりと、法人の理念を理解して行動する人材育成を引き続き実施する。人事評価、給与制度、キャリアパス等とリンクする現行研修体制により、組織マネジメントも習得させ、将来の幹部となる優秀な人材を育成する。

「2」在宅介護への流れに沿い、太田福祉記念会は地域の一員として分野の垣根を超えた福祉の目で自らの地域を見つめ、地域の人々とともに地域の課題の発見や解決に継続的に取り組むものとする。特に新型コロナウイルス感染症は高齢者にとってリスクが大きく、在宅介護の支援など地域の福祉ニーズも変化している可能性がある。これまでの児童学習支援活動や家族の介護疲れ軽減策の評価とあわせ、地域が求める家庭機能の補完支援活動を模索する。

「3」上記「1」と「2」を含め、法人のすべての活動は健全経営の堅持が前提となるものである。このため、中期財務計画をローリングし、玉川ホーム南棟等老朽化する施設を計画的に保全し、ICT（※1）の導入など新たなサービスの財源を計画的に確保していく。

（※1）Information and Communication Technology の略。通信技術を使って情報を伝達し活用する技術のこと。

[1] 令和5年度重点事業プラン

経営戦術基本方針

「福島県一質の高い介護サービスを提供しよう」

「地域貢献事業の企画・実施」

★ 「新型コロナなどの感染症対策スペシャリストの育成・配置」

1. 特色ある事業所づくりの推進【主担当：各施設長】

- (1) 事業所ごとに組織的努力の「焦点」を明確にし、職員の「使命感」と「情熱」を集中させ、取り組む方向性を見やすくする。
- (2) 利用者や郡山市民に各事業所の提供する介護サービスの特徴を理解していただく。
 - ①法人ホームページや広報誌等を通じ外部へのPR
 - ②利用者からの理解促進、契約件数の増加

2. きらきら人材育成事業（事業費 2,662 千円）【主担当：法人事務局】

- (1) 基本研修（事業費 1,192 千円）
 - ①新採用職員ガイダンス（4月3日、対象者6名）
 - ②新採用職員研修（3カ月間・6回、対象者4名）
※専門の外部講師報酬 264 千円
 - ③採用6年次職員研修（6カ月間、延12回、対象者8名）
※専門の外部講師報酬 528 千円
 - ★ ④リーダー研修（4カ月間、延8回、対象者9名）
※専門の外部講師報酬 400 千円
- (2) 外部専門研修等派遣（事業費 1,470 千円）
 - ・年間目標：80 講座 延 120 名 ※オンライン研修を含む

3. 太田福祉記念会地域貢献事業（事業費 60 千円）

- (1) 学習支援事業（事業費 30 千円）【主担当：玉川ホーム】
 - ・生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援の継続 ※食材料費 30 千円
- (2) 地域密着支援事業（事業費 30 千円）【主担当：法人事務局】
 - ①地域福祉の向上に貢献するための事業研究と地域ニーズの洗い出しの継続
 - ②地域住民に密着した事業（深沢地区被災者支援施設等）の研究継続

★＝新規項目

[2] 本部事業

1. 法人運営の安定化

(1) 情報が迅速に行き交う組織づくり

- ★ ・管理職（園長、所長）候補者の専門研修派遣など計画的な育成を行う。
- ・中間管理職（副所長、主任、副主任等）の適正な配置と発令、任用を行う。

(2) 経費節減

- ①入札等の実施による経費節減（予算編成時の見積額に対して執行額 3%節減）。
- ②消耗品や光熱費の適切な節減実施の促進。
- ③マスクや消毒液等非常時用消耗品の計画的備蓄。

(3) 公的助成制度の活用

- ・国、県、市等の助成制度による、積極的な補助金、交付金の導入。

(4) 生産性向上

- ★ ①既存事業の在り方の研究

地域密着型介護老人福祉施設（あたまホーム・6床）及び認知症対応型通所介護（太田玉川デイサービス・定員 12名）等の事業転換の可能性を総合的に研究。

- ★ ②インカム（※2）と連動した介護員コールシステム（※3）等、ICT 導入による新たな介護サービス及び業務負担軽減策の導入。

- ③働き方改革及び 2040 年問題に対応するための 5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）徹底と 3M（ムリ、ムダ、ムラ）の改善を継続。

(5) 中・長期事業計画（2024 年度～5 年、10 年）の研究・策定

- ・地域住民の生活に呼応した事業展開の研究。

2. 有能人材の確保・育成

(1) 採用条件“技術より人柄の良い人”の発掘

- ①有能な人材を確保するための幅広い求人活動の継続
- ②プリセプターやリクルーター等の組織化とリーダーの育成及び処遇制度創設の研究

- ★ (2) 人材と働き方の多様性（ダイバーシティ）の推進

- ①短時間勤務労働者や介護助手等の活用
- ②外国人介護人材受け入れ制度の研究
- ③週休 3 日制導入の研究

（※2）インターコミュニケーションシステムの略。手を使わず相互通話ができるタイプの無線機のこと。

（※3）利用者が職員を呼び出すことの出来る機器のこと。

[3] 特別養護老人ホーム

1. 利用者に質の高い介護サービスを提供

(1) 特別感染症対策事業（共通）

- ①太田福祉記念会伝染性疾病等施設内感染防止対策要綱（以下、「感染防止対策要綱」という。）に基づき、各種感染症から利用者と職員を守るため、専門家による講習会の開催や研修会へ職員を派遣する。また、予防対策行動を正確、確実に行う中心的存在として、専門知識に習熟した職員を育成、組織化する。
- ②緊急時介護サービス復旧計画（BCP）（※4）の発動を想定した職員配置シミュレーションの実施や備蓄品確保などの事前対策を継続する。
- ③協力医療機関と連携し、各種ワクチン接種等の感染症対策を継続する。

(2) 科学的介護の活用（共通）

- ・厚生労働省の科学的介護データベース（通称 LIFE）の利用者毎の口腔機能等に関するフィードバック（有効と評価された）情報を活用するなど、エビデンス（根拠）に基づいた介護サービスの研究を継続する。

(3) 看取り介護体制の充実・強化（玉川ホーム）

- ・看取りに関する専門的研修の開催及び利用者、ご家族の精神的支援を継続する。

2. 健全な財務体制の確保と業務効率化の推進

事業所名	目標値（稼働率）		
玉川ホーム (定員：長期 170 名、短期 20 名)	長期	163.5 名/日 (96.1%)	従来型 144.5 名/日 ユニット型 19.0 名/日
	短期	17.0 名/日 (85.0%)	介護 17.0 名/日 介護予防 0.0 名/日
あたまホーム (定員：長期 100 名、短期 21 名)	長期	96.5 名/日 (96.5%)	従来型 90.9 名/日 ユニット型 5.6 名/日
	短期	17.0 名/日 (80.9%)	介護 16.6 名/日 介護予防 0.4 名/日

(1) 稼働率の向上（共通）

- ・入所検討委員会を年 4 回以上開催し、空床期間の短縮を目指す。

(2) IT 機器を活用した業務の効率化

- ・Wi-Fi 設備（インカム）の操作習熟普及と作業の効率化（共通）
- ・各職種の業務日誌電子化の推進及び進捗状況の点検（あたまホーム）

（※4）Business Continuity Plan の略。災害などの緊急時における企業の事業継続計画のこと。

3. 職員の育成

★ (1) 感染症対応の専門家を育成（共通）

- ・ 感染症に関する専門知識を有する介護職の育成（研修派遣：職員 3 名）

(2) 新採用職員教育の充実（共通）

- ・ 教育担当職員の育成とリーダーの養成（研修派遣：リーダー 1 名、職員 1 名）

(3) 内部研修会の充実（共通）

- ・ 太田総合病院及び郡山市（出前講座）、民間企業の協力を得た各種研修会の実施
（事故防止・感染症・食中毒 各 1 回）

[4] ケアハウス

1. 健全な財務体制の確保と稼働率の向上

事業所名	目標値（稼働率）
グリーンライフ小磯 （定員：30 名）	28.0 名/日（93.3%） 1 人部屋 26.0 名/日 2 人部屋 2.0 名/日

(1) 新規入居者の確保及び施設の PR

- ・ 近隣地域包括支援センター等関係機関への PR 活動を継続（空室情報毎月提供）

2. 入居者の生活環境改善

(1) 感染防止対策を継続しながら、全入居者が参加する「元気クラブ」を開催。

（毎週 3 回。身体機能低下予防及び認知症予防目的の運動器訓練等）

(2) 入居者の希望を取り入れた行事や小グループでの活動を実施し、意欲の向上と精神面の安定を図る。（ショッピング等外出機会を提供：年 3 回 ※一人あたり年 2 回）

[5] 在宅の介護・支援サービス

I. デイサービス

1. 利用者の自立を支援する質の高い介護サービスを提供

(1) 特別感染症対策事業（共通）

- ・ 感染防止対策要綱等に基づき、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症から利用者と職員を守るため、送迎時の体温測定や消毒等の実施を継続。

(2) 自立支援と認知症進行防止（太田デイサービス）

- ・ 太極拳体操など、手や腕、脚の可動域を広げることを意識した運動と、記憶力の維持を目的としたクイズ等を取り入れた認知機能低下防止活動を実施。

(3) 自立支援を促す取り組み（太田玉川デイサービス）

- ・「精神」と「身体」を健やかに保ち生活機能の維持向上につながる、上下肢や体幹の筋力、平衡感覚、感情を刺激するレクリエーション活動を毎日実施。

（実践効果を毎月確認）

★(4) 認知機能の低下防止（太田小磯デイサービス）

- ・利用者固有の生活歴に着目したケアが有効であることから、湖南町の歴史や史跡の資料、昔の農機具の写真などから思い出を語る「回想法」を取り入れたレクリエーションを行い、認知機能低下防止活動を実施。

2. 健全な財務体制の確保

事業所名	目標値（稼働率）	
太田デイサービスセンター （定員：1日30名）	23.5名/日（78.3%）	介護 19.2名/日 総合事業 4.3名/日
太田玉川デイサービスセンター （定員：1日37名）	25.5名/日（79.6%）	介護 18.6名/日 総合事業 4.9名/日 認知症 2.0名/日
太田小磯デイサービスセンター （定員：1日18名）	16.3名/日（90.5%）	介護 13.4名/日 総合事業 2.9名/日

(1) 稼働率の確保（共通）

- ・契約者増（前年比3%増以上）や利用回数増の働きかけによる目標利用者数の達成

(2) 介護報酬の上位加算算定（太田デイサービス）

- ・利用者の自宅訪問による入浴自立支援を行い、上位の入浴介助加算を取得

II. ホームヘルプサービス

1. サービス水準の維持と健全な財務体制の維持

(1) 特別感染症対策事業（Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの事業共通）

- ・新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症から利用者と職員を守るため、国の指針等に基づき、職員に健康管理を留意させたうえでサービスを提供。

(2) 高齢者の生活支援ニーズに応じたサービス提供

- ・健康や病気などの不安を抱えた一人暮らしの高齢者が増加していることから、日々の健康状態確認など、顔と顔を合わせることで利用者が安心できるサービスを提供。

事業所名	目標値（稼働率）	
太田訪問介護事業所	14.0名/日	介護 9.0名/日 総合事業 5.0名/日

Ⅲ. 居宅介護支援サービス

1. 収支バランスのとれた財務体制の維持と質の高いケアプラン作成

事業所名	目標値（稼働率）
太田指定居宅介護支援事業所	160名/月

(1) 質の高いケアプランの作成

- ・医療機関等と連携を図り、退院調整ルールが適切に実践され、安定した医療・福祉サービスが提供できるように計画を作成

Ⅳ. 地域包括支援サービス・介護予防支援サービス

1. 地域に根ざした包括的なサービスを提供

(1) 地域高齢者の介護予防推進

- ・各地区の要望を踏まえた介護予防教室を、社協職員等と連携し随時開催
- ・湖南地区社会福祉協議会と共催して開催する「いきいきデイクラブ」でフレイルチェック（※5）を実施するなど介護予防を推進（年2回）

(2) 「おいそカフェ まざっせ」の開催

- ・施設の一部を開放し認知症の方やご家族が何でも相談できる場を提供（年10回）

(3) 健全な財務体制の確保

事業所名	目標値（稼働率）
湖南地区地域包括支援センター （湖南地区介護予防支援事業所）	90名/月

（※5）「フレイル」とは、病気ではないが、年齢とともに筋力や心身の活力が低下し、健康と要介護の間の状態のこと。15の簡単な質問で現在の健康状態を評価することができ、介護予防・日常生活支援総合事業利用の目安にもなっている。